

大学での学び、最初の一步【その1 基本編】

埼玉大学教育企画室

新入生のみなさん、こんにちは。この文書では、大学での勉強の「基本中の基本」について、なるべく分かりやすく説明しようと思います。まず、大学での学び方を理解するうえで重要な「6つの基本ポイント」を説明し、そのあとで「時間割の組み方」について説明します。ちょっと長いですが、あわてずにしっかり読んで理解を深めてください。わからないことが出てきた場合は、この文書の最後に問い合わせ先を掲載しますので、遠慮なく質問してください。

◇6つの基本ポイント

ポイント1 自分の時間割は自分で作る

大学での授業には、あらかじめ決められた時間割はありません。みなさんが大学での学びを進めていくための基本的な流れは、原則として以下のようになっています。

- ①自分に必要な授業科目や興味のある授業科目を選ぶ。
- ②その授業科目を自分で履修登録する（＝「私はこの授業科目を履修します」という意思を、WEB履修登録システムを使って担当教員に伝える）。
- ③それぞれの授業科目が定めている方針・方法に従って勉強し、成績評価を受ける ⇒ 合格ならばその授業科目の「単位」を得られる。種類によって「1単位」または「2単位」という設定になっている授業科目がほとんど。
- ④この「単位」を、卒業を目指して積み重ねていく。

①から④まですべて主語は「学生」です。その土台になっているのは、「大学での勉強は主体的であり、自己責任を伴うものだ」という考え方です。自分で動かないと、大学での学びは始まらないということを強く意識しましょう！

手続きの面で特に大事なのが②です。これが正しくできていないと、せっかく出席してテストを受けていい点を取っても、単位を得られません。埼玉大学では1年間の授業期間を4つに分けて、それぞれを第1ターム、第2ターム、第3ターム、第4タームと呼んでいます。履修登録できる期間は、以下の年2回です。気をつけましょう。

第1タームの開始直前～開始直後：第1ターム、第2ターム、集中講義期間の授業を登録

第3タームの開始直前～開始直後：第3ターム、第4タームの授業を登録

※埼玉大学の授業の大部分は、「1つのタームで完結する科目」か、「2つのターム連続（1～2または3～4）で行われる科目」かのどちらかです。また集中講義期間にまとめて行われる授業もあります。

※①や③についての情報を手に入れるためのツールが「シラバス」です。埼玉大学ではWEBでシラバスを公開しています。

※今年度第1・2タームの履修登録締め切りは以下の通りです(集中講義科目も含む)

抽選のある基盤科目=4月22日(水)午前10時

「スポーツ実技」=4月28日(火)午前10時

それ以外の科目=5月13日(水)

ポイント2 100%好きなように授業を選べるわけではない

ただし、まったく好きなように授業を選んでよいわけではありません。埼玉大学のそれぞれの学部では「単位の積み重ね方についてのルール(卒業要件)」を決めています。そのルールを守らないと卒業できないので、その点を決して忘れないようにしてください。

もう一つ重要なのが、「1年生の第1・2タームに履修登録できるのは24単位まで」というルールです。これはCAP（キャップ）制と呼ばれる仕組みで、「授業のための勉強をするための時間を十分に確保する」という考え方に基づいて導入されています。上限の数字が、授業そのものの数ではなく単位数だという点にも気をつけましょう。たとえば同じ「90分×15回(今年度前半はもう少し少ないですが)」の授業でも、合格した時に1単位与えられる科目（語学など）と、2単位与えられる科目があるので要注意！なお、第3ターム以降に履修登録できる単位数は、第1・2タームの成績によって決まります。

※CAP制については、遠隔授業への対応として別に指示が出る可能性がありますので、注意してください。

あともう一つ、「一度単位を取った科目と同じ科目は履修できない」というルールがありますので、気をつけてください。「同じ科目」というのは「最後についている数字やアルファベットまで含め、同じ名前の科目」ということです。

ポイント3 成績についての考え方

埼玉大学では授業ごとに到達目標を設定し、あなたがその目標をどこまで達成できているかによって、成績評価を行います。到達目標を超え、特に優れているということであればSが、到達目標に最低限達しているならばCが与えられます（SとCの間は、A+, A, B+, B, C+に分かれています）。SからCまでが「合格」ですが、到達目標に足していないという評価をされると「不合

格」となり、Fがつきます。

次に、このS~Fまでの評価のそれぞれは、「成績を表す数字(グレードポイント、略してGP)」とセットになっています。上から見ていくと、S=4、A+=3.5、A=3.0(以下0.5ずつ下がって)C=1、F=0です。そしてこのGPに授業科目ごとの単位数を加味して算出した平均値をGPAと呼んでいます。このGPAは「連続する2タームごと」と「学年ごと」に算出され、科目ごとの評価やGPと共に、成績表に記録されます。

さて、大学での学びにおいては、(なるべく起こってほしくないですが)「履修登録をして、最初の2、3回は出席してみたけれども、この授業を取るのはやめにしよう」ということがときどき起こります。そのような場合に、単に出席するのをやめただけだと、成績としてはFがつきます。注意してほしいのは、その時に与えられるGP=0がGPAの計算に含まれるということです(当然下がってしまいます)。そこで、タームの初めのうちであれば、履修登録をキャンセルすることができるようになっています。キャンセルできる期間は決まっているので、間違えないようにしましょう。

ポイント4 埼玉大学の授業はいくつかの大きなグループに分かれている

まず「基盤科目」、「外国語科目」、「専門科目」という3つが、一番大きなグループです。それぞれについてざっくり説明すると

基盤科目 = いろいろな学問の基礎を知ると同時に、自分の専門以外への視野を広げ、幅広い知性を育てるための科目

外国語科目 = 国際的なコミュニケーションスキルを身に付けると同時に、言葉を通しての異文化理解を深めるための科目

専門科目 = 自分の所属する学部・学科(専修課程、メジャー)の教育目標に合わせて、専門的な知識や思考力を深めるための科目

ということになります。これら3つのグループの中は、さらに小さなグループに分かれています。たとえば基盤科目は、授業内容によって「人文学科目群」「社会科学科目群」… というふうに分かれています。

入学したばかりのみなさんは、まず「このようなグループ分けがある」、「卒業するためには、どのグループからいくつの単位を取らなければいけないか、ルールによって決まっている」、「そのルールは自分が所属する学部・学科(専修課程)によって異なる」ということを理解してください。「外国語科目」と「基盤科目」の学び方については、「大学での学び、最初の一步【その2】」で説明します。また「専門科目」の履修の仕方については、自分が所属する学部からの説明をよく読んで(聞いて)ください。

ポイント5 「履修案内」(教育学部は「教育学部履修の手引き」)が学びのルールブック

これはタイトルそのままです。大事なのは「自分の入学年度のものを使う! (編入学の方は例外)」です。というのも、在学中に「単位の積み重ね方についてのルール(卒業要件)」が変わったとしても、あなたに適用されるルールは、あなたが入学した年度の「履修案内」に書かれているものだからです。

ポイント6 細かい点では例外も

以上5つが、大学での学びを進めていくうえで特に重要なポイントです。あくまでも新入生向けに一番基本的な部分だけを書いたので、あえて言わなかったところもあります。たとえばポイント2で説明した、「第1・2タームに履修登録できるのは24単位まで」ルールですが、たとえば「インターンシップ」や「学芸員資格を取るための科目」のような、やや特殊な授業科目の単位はこの「24単位」には含めません。このような点については「履修案内」を熟読し、分からないことが出てきたら質問してください。

◇時間割を作るときの基本手順

ここまでの6つのポイント、理解できたでしょうか?それでは次に、「自分の時間割」を作っていく手順について説明します。しばらくはインターネットによる授業が行われるため実感がわかないと思いますが、「時間割作成」と「履修登録」は、大学が平常通り動いている時と同じ、「ほとんどの授業が特定の曜日・時限(「時限」というのは「何時間目」というのと同義です)に行われている」という前提で考えていきます。まずは、夏休みまでの授業期間(第1ターム、第2ターム)の時間割を作りましょう。

そこで、次のような表を用意してください。手書きで十分ですが、表の中を書いたり消したりするので、罫線はペン書きがよいでしょう。そのうえで、下記の手順でまず目を埋めていき、WEB履修登録しましょう(集中講義は欄外に)。ちなみに大学では、この表の1マスのことを「コマ」と呼ぶことが多いです。

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					

手順1：クラス指定のある必修科目で埋める

たとえば、どの学部でも英語Ⅰは必修ですが、「標準コース」で履修する場合、学籍番号によって曜日・時限が決まっています。また、教養学部生必修の「英語以外の外国語Ⅰ」や「アカデミック・スキルズ」なども同様です。学部によっては、「初年次科目」や「専門科目」の中に「1年生のうちに取らなければいけない必修科目」があります（たとえば経済学部では「経済学入門」など、理学部数学科では「解析概論A」などがこれに該当します）。これらの科目がまず最優先になります。

手順2：資格関係の科目で埋める

（教員免許や学芸員などの資格取得を希望しない人は、この手順は飛ばしてください）

教養学部の学生で教員免許状や学芸員資格、理学部の学生で教員免許状の取得を考えている場合には、そのために必要な科目を履修しなければなりません。教員免許状に関して1年生のうちに履修すべき科目は別に指示しますので気をつけてください。

手順3：基盤科目で埋める

次に、基盤科目を「自分の所属する学部のルール」に従って選びましょう。手順1と2のあとで、空いている時間帯に開かれている科目をWEBシラバスで探すという手順になります。基盤科目として開講されている科目のリストは、「大学での学び、最初の一步【その2】」に掲載しますので、しっかり確認してください。「科目名が『○○概説』とか『△△入門』であっても、専門科目」ということもあるので、科目名だけで判断しないでください。

なお、基盤科目のうち「人文学科目群」「社会科学科目群」「自然科学科目群」に含まれる科目の授業は、すべて午前中に行われ、かつ「第1タームの火曜1限と木曜1限」「第2タームの金曜1～2限」のように、「1つのタームに週2コマ」というパターンで開講されます。第1・第2ターム通しての授業（多くは専門科目）と重なってしまうこともありますが、1年生のうちは基盤科目を優先に考えましょう。ただし、「学部の1年生向け必修科目」と重なった時は、「学部の1年生向け必修科目」を優先しましょう。

手順4：(1年生必修ではない) 専門科目で埋める

学部によって違いがありますが、手順1～3の後にあいている時間があることも考えられます。その時は、自分の興味や関心に従って専門科目を学んでみましょう。その時、シラバスをよく読んでレベル（授業によっては学年指定があります）を確認すること、それからCAP制で決められている単位数の上限を忘れないことが大事です（上限を超えてWEB履修登録をしようとする、自動的に却下されます）。

※おつかれさまでした！ここまでの説明を理解できた人は「大学での学び、最初の一步【その2 外国語科目・基盤科目編】」に進んでください。質問があるときには以下の連絡先まで！

◇質問があるときの連絡先（平日 8 時 45 分～16 時 45 分）

[英語については]

英語教育開発センター TEL 048-858-9236

[基盤科目・英語以外の外国語科目については]

教育企画課・教務担当 TEL 048-858-3943

[自分の所属する学部での学びについては]

教養学部（教養学部係） TEL 048-858-3044

経済学部（経済学部係） TEL 048-858-3287

教育学部（教育学部係） TEL 048-858-3144

理学部（理学部係） TEL 048-858-3345

工学部（工学部係） TEL 048-858-3429